

資料No. 7

安来節

やすぎ

ぶし

プレミア公演

安来節制作ダンス
「NEO 安来節」
出演あり！

in
小倉

観覧無料



場 所

チャチャタウン小倉〈イベントステージ〉

福岡県北九州市小倉北区砂津3-1-1 TEL:0570-07-6363

令和8年 9月19日(土) / 令和8年 9月20日(日)

① 14:00～ ② 16:30～

① 10:30～ ② 13:30～

③ 15:30～

アンケート記入で

景品
プレゼント

公演終了後、アンケートに
ご協力いただいた方に抽選で
景品プレゼント!(ハズレなし)

お問い合わせ先

安来節保存会

〒692-0064 島根県安来市古川町534

TEL:0854-28-9988 FAX:0854-28-9393

ホームページ: <https://y-hozon.com> メールアドレス: admin@y-hozon.com

やすぎぶし 「安来節」とは

安来節は島根県の代表的な民謡で、どじょうすくい唄としても全国的に広く親しまれています。

安来市は古くから鉄や米の積出港として栄え、元禄の頃に北前船の船頭たちによって、全国の追分、おけさなどの民謡や、田植歌、船歌などが盛んに交流しました。それに独創性を加えた「さんご節」をさらに改良して、安来節の原型ができたといわれています。

江戸末期には、いろいろな音楽の影響を受けながら「安来節」として変化、成長していきました。安来節のリズムは、陽気な中にももの哀しさもあり、もと唄に他の民謡や浪曲を取り入れて唄うことのできる珍

しいものです。歌詞も数多くあり、その場に応じて即興的に唄われることもあります。

明治に入ると、「月の輪まつり」で夜通し町内を唄いながら練り歩き、人々の生活にも深く結びついていきました。

明治の終わりごろには、渡部お糸という唄の名手が現れて評判になり、安来節の正調保存と振興を図るため「正調安来節保存会」が設立されました。お糸はレコードを出したり、三味線の富田徳之助と一座を組んで全国を回って、安来節の黄金時代を築きました。

「どじょうすくい踊り」について

安来近郷の若者等が昔、どじょうを小川から掬って来てそれを肴に酒盛をした。その席ではきまつて、どじょうを掬うときの動作を真似た踊りを踊って座興としたということであり、この踊りが安来節のリズムによく合って、安来節のあるところ、どじょうすくいの踊りがあり、安来節の発展と共に大衆の中に浸透していきました。

また、浜佐陀地区に住む竹内由助という百姓は器ような人で、日毎の業のどじょうすくいの動作を手振り、身振り面白く踊り、酒席等で喝采を得たと伝えられている。

こうした環境の中にあつて、安来節とどじょうすくい踊りのローカル性との結びつきは当然のことであり、明治～大正にかけて安来節の大きな飛躍と共に、どじょうすくい踊りもさらに改良、工夫がなされ、踊りも男踊りと女踊りに分けられて、客席でも充分楽しめる踊りに進化した。

女踊りについては、大正五・六年頃西川流小川静子（安来検番の師匠）の振付により生まれたものである。

安来節を始めてみませんか！

どじょうすくい踊りで有名な島根県を代表する伝統芸能「安来節」を始めてみませんか！安来節には「唄」「絃（三味線）」「鼓」「踊（どじょうすくい踊り）」「銭太鼓」の5種目ありますので、好きな種目だけを習う事も可能です。福岡県にも以下の教室がございますので、お気軽にご連絡ください。



現地お問い合わせ

福岡県古賀教室（丸山 豪）

福岡県古賀市中央2丁目13-1リーバスプラザこが
携帯：080-3981-5907 自宅：093-201-8712

安来節全般に
関するお問い合わせ

安来節保存会

〒692-0064 島根県安来市古川町534
安来節演芸館内2F
電話：0854-28-9988
FAX：0854-28-9393
メール：admin@y-hozon.com
ホームページ：https://y-hozon.com

ホームページ
はこちら→



島根県安来市の観光に
関するお問い合わせ

安来市観光協会

〒692-0011 島根県安来市安来町2093-3
電話：0854-23-7667
FAX：0854-23-7654
メール：mail@yasugi-kankou.jp
ホームページ：https://yasugi-kankou.com

ホームページ
はこちら→



島根県安来市に
関するお問い合わせ

安来市役所

〒692-8686 島根県安来市安来町878-2
電話：0854-23-3000（代表）
ホームページ
https://www.city.yasugi.shimane.jp

ホームページ
はこちら→

